

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	05 03 09	中期総合計画主要施策番号	1-03	担当課	部・課	環境部水大気環境課	
事業名	水道事業監督指導事業				内 線	2757	
					E-mail	mizutai@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S32以前 ~	根拠法令等	水道法、小規模水道維持管理指導要綱、飲用井戸等衛生対策要領				
実施方法	県が直接実施					国庫・県単	国庫補助事業・県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	安心・安全な水道水の供給と適正な水道事業の経営を図る。				
	対 象	水道事業者				
	目指すべき姿	水道事業者に対し指導、監督を行い、事業者における水道施設の適切な維持管理と安心・安全な水道水の供給及び水道事業の適正な経営を目指す。				
	事業内容	・水道事業経営の指導、監督 ・水道施設の維持管理指導 ・水質検査の実施				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 報償費:10千円 旅費:183千円 需要費4,725千円 役務費218千円 使用料:115千円
	最終予算額 (A)		千円	3,043	5,994	2,510	
	決 算 額 (B)		千円	2,026	5,249		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	1,027	4,416	1,271	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	3.00	3.00	3.00	
		概算人件費 (C)	千円	24,951	24,774	24,774	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	26,977	30,023	27,284	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効率指標 算出式) 概算事業費 / 立入検査件数
	立入検査件数	件	354	329	360	
	研修会開催回数	回	2	2	2	
	統合等による廃止の許可又は届出の受理件数	件	3	10	10	
	<効率指標(単位当りコスト等)> 立入検査件数	千円 / 件	76	91	76	

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価				評価区分
	・水道施設の立入検査(298件)を行うとともに、維持管理に係る研修会を開催(2回)し、重大な事故の防止を図る。 ・水道事業者の適正な経営のための統合を進める。	・水道施設の立入検査(329件)や研修会の実施(2回)により、施設の適正な維持管理が図られ、重大な事故は発生しなかった。 ・水道事業354(22年度末)のうち10事業が廃止され、集約化が進んでいる。				b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・県内の水道は、簡易水道や法適用外の小規模水道が多数あり、管理に不備が見受けられるところもある。水道の広域化や上水道への統合等により、事業の運営基盤強化や適正な維持管理の確保を行う必要がある。 ・水道事業者への指導監督は、水道法で県が行うとされている。 ・県職員による定期的な施設への立入検査を、計画的かつ効率的に実施している。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・市町村内に複数存在する簡易水道や法定外小規模水道について、上水道事業への統合や広域化を推進し、水道の管理体制の強化を一層推進する。				
	特記事項					